

令和6年版											令和7年版											改定理由			
単位: mm											単位: mm														
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要				
1	共通編	3	7	4	組立て	平均間隔 d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$		1-3-7-4	1	共通編	3	7	4	組立て	平均間隔 d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$		1-3-7-4				
						かぶり t	±φ かつ 最小かぶり以上	D: n本間の延長 φ: 10本程度とする φ: 鉄筋径									設計かぶり ±φ かつ 最小かぶり以上	D: n本間の延長 φ: 10本程度とする φ: 鉄筋径							
						工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で1箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準 7編 2章 2.1）参照。ただし、道路標示方書の適用を受ける構については、道路標示方書（Ⅲコンクリート版・コンクリート部材編 5.2）による。											工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で1箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準 7編 2章 2.1）参照。ただし、道路標示方書の適用を受ける構については、道路標示方書（Ⅲコンクリート版・コンクリート部材編 5.2）による。								
						注1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。											注1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。								
</																									